

植民地支配への真剣な反省を土台にしてこそ解決の道は開ける

志位委員長は8月26日の会見で日韓関係について「深刻な悪化を深く憂慮している」と表明し、次のように述べました。

日本共産党

禁じ手
使う

今日の日韓関係の深刻な悪化を招いた直接の原因は、安倍政権が「徴用工」問題で被害者の名誉と尊厳を回復する責任を放棄したこと。そのうえ、この問題での政治的対立の「解決」の手段として対韓貿易規制の拡大—韓国の「ホワイト国」からの除外という、政経分離の原則に反する「禁じ手」を使ったことです。

欺まん
態度

安倍政権は、韓国除外は「安全保障のための輸出管理の見直し」のためと説明しています。しかし、参院選時、首相は「徴用工の問題で、国と国との約束（日韓請求権協定）を守れない国であれば貿易管理を守れないと思うのは当然」と、徴用工問題が除外の理由だと認めていました。

礼儀
欠く
態度

河野太郎外相が駐日韓国大使を呼びつけメディアの前で面罵するなど、外交的礼儀を欠く態度も繰り返されました。

自らの延命に利用するのは許されない

問題の根本には、韓国の植民地化を進めた日露戦争を美化した2015年の「安倍談話」など、安倍首相が1995年の「村山談話」など歴代政権が表明してきた「植民地支配への反省」の立場を

投げ捨てる態度をとり続けていることがあります。歴史を偽造し、他国を侮辱し、排外主義をおおることによって、自らの延命をはかることは決して許されません。



徴用工問題についての志位委員長の「見解」を報じた「赤旗」2018年11月2日付一面



日本共産党の志位和夫委員長は8月30日、香港のデモのリーダーが警察に拘束されたことを受け、以下のコメントを発表しました。



香港の平和的デモのリーダーである黄之鋒氏と周庭氏の2人が香港警察により拘束されたことに強い懸念を表明する。香港市民の当然の権利である平和的な政治活動に対する当局による抑圧的措置に反対する。われわれは、事態の平和的な解決を強く望む。

香港デモ リーダー逮捕

志位氏 抑圧的措置に反対する